



## ホストの管理

---

この章では、DNSゾーンでホストを設定する方法について説明します。この章のコンセプトに進む前に、プライマリおよびセカンダリ DNS サーバーとそのゾーンの基本プロパティの設定方法を説明している「[ゾーンの管理](#)」を参照してください。

- [ゾーンのホストの追加 \(1 ページ\)](#)
- [ホストの RR の追加 \(2 ページ\)](#)
- [ホストの編集 \(3 ページ\)](#)
- [ホストの削除 \(3 ページ\)](#)

## ゾーンのホストの追加

個々の RR ではなく、ホストを設定することによって、ホストのリソースレコードを管理できます。ホストを定義すると、DNS サーバーは、指定したアドレスごとに、IPv4 の場合はアドレス (A) RR、IPv6 の場合は AAAA RR を自動的に作成します。ホストに1つ以上のエイリアスを指定すると、サーバーは各エイリアスの正規名 (CNAME) RR も作成します。逆引きゾーンが存在する場合は、サーバーにホストの逆引きゾーンにあるホストのポインタ (PTR) RR を作成させることもできます。

## ローカル Web UI

---

**ステップ 1** **Design** メニューの **Auth DNS** サブメニューで **Hosts** を選択して、[ゾーンのホストのリスト/追加 (List/Add Hosts for Zone) ] ページを開きます。

**ヒント** [ゾーンのホストのリスト表示/追加 (List/Add Host for Zone) ] ページで、対応する列の見出しをクリックして、ホスト名、IP アドレス、IPv6 アドレス (該当する場合)、またはエイリアスを基準にソートできます。ただし、多数の (5 万を超える) ホストがあるゾーンの場合は、ソートの基準をホスト名に限定してください。IP アドレスまたはエイリアスを基準とするソートは、非常に長い時間を要することがあり、CCM サーバーのメモリ容量を超えた場合には失敗する可能性があります。

**ステップ 2** ホストの名前とその IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはカンマで区切ったアドレスを入力します。

- ステップ3** ホストにエイリアス名がある場合は、カンマ区切りのリストを入力します。
- ステップ4** ホストに対応するポインタ (PTR) RR を作成する際に、そのホストの逆引きゾーンが存在することが分かっている場合は、[PTRレコードを作成しますか (Create PTR Records?) ]チェックボックスをオンにします。
- ステップ5** [Add Host] をクリックします。
- ステップ6** 確認するには、**Design** メニューの **Auth DNS Forward Zones** サブメニューにある を選択して、[正引きゾーンのリスト/追加 (List/Add Forward Zones) ] ページを開きます。
- ステップ7** **Resource Records** タブをクリックし、選択したゾーンの RR を表示します。
- (注) 特定のゾーンのホストのリストを表示するには、[Hosts] タブをクリックします。

## CLI コマンド

既存の逆引きゾーンの RR、エイリアス RR、および PTR RR を 1 回の操作で作成するには、各ホストに **zone name addHost hostname address alias** を使用します。作成されたゾーンのリストを表示するには、**zone name listHosts** を使用します。

## ホストの RR の追加

選択した dns 編集モード (段階または同期) に基づいて、ホストに RR を追加します。詳細については、「[ゾーンへのリソースレコードの追加](#)」を参照してください。

これらの RR がアクティブなサーバー RR になるようにするには、DNS サーバーをリロードします。

## ローカル Web UI

たとえば、CNAME RR を追加するには、[正引きゾーンのリスト表示/追加 (List/Add Forward Zones) ] ページの [リソースレコード (Resource Records) ] タブにある [名前 (Name) ] フィールドにエイリアスホスト名を追加し、[タイプ (Type) ] ドロップダウンリストから [CNAME] を選択して、[データ (Data) ] フィールドにホストの正規名を追加してから、[Add Resource Record] をクリックします。この DNS の仕様では、別の RR と同じ名前の CNAME RR は使用できないことに注意してください。

MXRR の場合は、[名前 (Name) ] フィールドに元のホスト名を追加します。[タイプ (Type) ] ドロップダウンリストから [MX] を選択します。[データ (Data) ] フィールドに、整数プリファレンス値、スペース、および元のホストのメールエクスチェンジャのドメイン名を追加して、[Add Resource Record] をクリックします。これらのエントリはページ下部のリストに表示されます。

## CLI コマンド

CNAME レコードを作成するには、保護された RR の場合は **zone name addRR alias CNAME canonical** を使用し、保護されていない RR の場合は **zone name addDNSRR alias CNAME canonical** を使用します。

MX レコードを作成するには、保護された RR の場合は **zone name addRR hostname MX preference mxname** を使用し、保護されていない RR の場合は **zone name addDNSRR hostname MX preference mxname** を使用します。

## ホストの編集

ホストの編集には、次の作業が含まれます。

- アドレスまたはエイリアスの追加
- リソースレコード (RR) の変更。

## ローカル Web UI

**ステップ 1** **Design** メニューの **Hosts Auth DNS** サブメニューで を選択して [ゾーンのホストのリスト/追加 (List/Add Hosts for Zone) ] ページを開きます。

複数のゾーンが設定されている場合は、左側の [ホスト (Hosts) ] ペインのゾーン リストからゾーンを選択します。

**ステップ 2** ホスト名をクリックして、追加の IP アドレスまたはエイリアスを追加し、[Save] をクリックします。

**ステップ 3** RR を変更するには、[RR の編集 (Edit RR) ] ボタンをクリックして [RR リスト表示の編集 (Edit View RR List) ] ページを開きます。

## CLI コマンド

ホストを編集するには、**zone name removeRR name type data** または **zone name removeDNSRR name type data** を使用して RR を削除してから、**zone name addRR name ttl class type data** または **zone name addDNSRR name ttl type data** を使用して RR を再入力する必要があります。

## ホストの削除

ホストを削除すると、そのホストのすべての A、CNAME、および PTR RR が削除されます。

## ローカル Web UI

[ゾーン (Zone) ] ページの [ホストのリスト表示/追加 (List/Add Hosts) ] で (そこへのアクセス方法については、「[ホストの編集 \(3 ページ\)](#)」を参照)、削除するホストの横にある [削除 (Delete) ] アイコンをクリックし、削除を確認します。

## CLI コマンド

**zone name removeHost** を使用してホストを削除してから、**zone name addHost** を使用してホストを再び追加します。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。